

いちい 10月②



岐南中学校教育目標
自分や仲間の
「夢や希望」の実現のために
自ら動く

10月11日(月)命を守る訓練

ガラス片に見立てた卵パック



今年度、第2回目の訓練です。今回の想定は、前회가、学級担任の誘導による訓練でしたが、今回は、教科担任による誘導訓練です。授業中に地震と火災が発生した想定で行いました。訓練では、地震発生から火災が発生したことを想定して机の下にもぐり身を守るところから、避難経路に従って各授業場所からの避難をしました。

また、今回の訓練では避難経路にガラスが飛び散っているという想定で、たまごの空パックを並べての訓練でした。



点呼

10月13日(水)2年生篠島研修



アジの開き体験

コロナ禍で延期になり日帰り研修となりましたが、心配した天気も回復し、すべての行程を無事終えることができました。学年スローガン「全員で奏でるハーモニー」のもと、新しい発見がたくさんあったようです。研修翌日に行われた振り返りにおいては、どのクラスも真剣に向き合い、自分たちの成果と課題について具体的に考えていました。今後の生活にどのようにつながっていくのが楽しみです。



漁場巡り

11月19日(火)全校研究授業(2年3組国語科:野田教諭)を行いました!



『「分かった」「できた」と実感でき、自ら学ぶ生徒に高める授業づくり』をめざした全校授業研究会の第2回目を行いました。今年度は11月に公表会を控え、このコロナ禍で一人一台のタブレットが支給されたことを踏まえ、授業の中でどのように活用することができるのかを試行錯誤しながら授業を創り上げています。授業は、国語科「表現を工夫して書こう」の単元を扱いました。エントリーシートを意識して自分のことを読み手にわかりやすく伝えるための表現の工夫について学習しました。

授業では教師の例文からどんな表現の工夫をするとわかりやすくなるかを考え、自身のアピール文について修正しながらわかりやすい表現の仕方について考えていきました。タブレットに列挙された各自のファイルに書き込みながら他の仲間の文章も共有することができます。それもヒントにしながら自分の文章を完成させていきます。

今回もコロナ禍での研究授業でしたが、全教職員で参観できるように教室ではなく体育館で授業を実施しました。コロナ禍での新しい授業研究会の形でした。授業後は

体育館で全教職員による授業の振り返りをする中で明日への授業に還元していけるように研究を深め、それぞれが自分自身の授業に置き換えて考える時間となりました。

2年3組の授業の様子をみて、学習集団としての基盤がしっかりとできて、国語科の学び方が定着しており、自分でどんどん進めていく姿が印象的でした。今回の授業では、タブレットを活用して自身の課題に真剣に追究する姿は、まさに新学習指導要領がめざす主体的な深い学びにつながっていくものでした。これからもこの姿勢を高めていけるように頑張っていきたいと思います。



授業後の研究会